

2025 年度 IT 奨励賞の受賞

東京海上日動システムズ株式会社(代表取締役社長 原田 晋)は、公営社団法人企業情報化協会(以下「IT 協会」)主催の 2025 年度(第 43 回)IT 賞において、「必要な情報に素早くアクセスできるコンシェルジュサービス開発～生成 AI を活用した情報検索を自前で実装～」をテーマに応募し、「経営・業務改革領域」にて IT 奨励賞を受賞しました。

1. IT 賞について

IT 賞は、IT やデジタル技術を活用して、優れた業務改革や社会貢献を実現した活動体(企業・団体・機関・組織・学校・組合など)を称える表彰制度です。本賞は、わが国の産業界および公共分野における IT・デジタル活用の推進と、その先進的な実践の普及を目的として、公益社団法人企業情報化協会が主催しています。



1983 年に創設された「OA 賞」を前身とし、2001 年度より「IT 賞」として新たな歩みを進め、現在に至ります。

【ご参考】IT 協会 WEB サイト <https://jiit.or.jp/awards/it/>

2. 当社の具体的な取組

当社はこのたび、社内情報へのアクセス性向上を目的に、生成 AI を活用したコンシェルジュ型検索サービスを内製開発しました。社内情報が複数のサイトやファイルに分散しているため、社員の 75% が必要情報への到達に困難を感じており、特にキャリア入社者や新入社員にとって大きな課題となっていました。

本サービスでは、複数のサイトやファイルに点在する情報を横断的にクロールし、RAG(Retrieval-Augmented Generation)を活用して、チャット形式で最適な情報や関連文書を提示します。パッケージソフトではなく内製開発を選択したことにより、当社固有のシステム環境やガバナンス要件に合わせた柔軟なカスタマイズが可能となり、生成 AI に関する知見も強化できました。

試行運用では、特に経験や社歴の浅い人材に対して効果が大きく、情報検索に要する時間を平均で約 80 分/週程度削減する効果を確認した一方で、情報の不正確性等といったリスクも認識しました。今後はこれらのリスク対策を強化しながら、本サービスで得られた知見を全社的な生成 AI 活用へと展開し、業務効率化と組織的な知見の獲得を通じて、さらなる経営改革を推進してまいります。

以上